

令和6年度進行管理・評価シート
下田市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）
（最終変更 令和2年5月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業	6
3 玉泉寺周辺整備事業	7
4 市道大川端通線周辺整備事業	8
5 旧下田町道路美装化事業	9
6 蓮台寺温泉環境整備事業	10
7 下田公園環境整備事業	11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業	12
9 太鼓台整備助成事業	13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業	14
11 下田市青年就農給付金給付事業	15
12 天草漁業従事者育成事業	16
13 旧下田町環境整備事業	17
14 歴史文化資源回遊性向上事業	18
15 郷土学習総合推進事業	19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、保存管理(活用)	21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練	22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 SNSにみる認知度の向上	25
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26

令和6年度進行管理・評価シート		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を受けるとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会（計画認定後に名称変更予定）と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課と生涯学習課を中心に、事業に応じて庁内関係各課と協議・調整し、市民および各民間団体の理解・協力を得ながら事業を実施している。特に今後、より専門的な協議等が必要となることを想定し、学識者や関係者とともに作業する組織として、下田市歴史的風致維持向上協議会内に「作業部会」を設置できるようにした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画第8章「4 改修に伴う建築基準法の適用除外」について、作業部会を設置し検討していく方針。		
状況を示す写真や資料等			
<pre> graph TD subgraph National N1[〈国〉 文部科学省 農林水産省 国土交通省] end subgraph Prefecture P1[〈静岡県〉 スポーツ・文化観光 部交通基盤部] end subgraph City C1[下田市 〈事務局〉 建設課、生涯学習課] C2[〈庁内関係課〉 企画課、防災安全課、観光交流課、 産業振興課、学校教育課 他] end subgraph Agreement A1[下田市歴史的風致維持向上協議会 作業部会 作業部会 連絡調整会議] end subgraph Committees C3[下田市文化財保護審議会] C4[下田市都市計画審議会] C5[下田市景観まちづくり審議会] end subgraph Citizens CIT[市民、文化財所有者、関係団体] end subgraph System S[実施体制] end N1 -- 協議 --> C1 P1 -- 助言支援 --> C1 C1 <--> 協議調整 A1 C1 -- 報告 --> C3 C3 -- 助言 --> C1 C1 <--> 協議調整 CIT CIT <--> 協議調整 CIT </pre>			
<p>作業部会：協議会所掌事項に関し、必要に応じて詳細な調査及び検討をする。</p> <p>連絡調整会議：作業部会間の調整を行う。</p>			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 本重点区域は、まどが浜海遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全区域が用途地域内である。こうした現状の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下田市は、海や山の景観を有し、それらが地域における歴史的風致と密接に結びついている。こうした良好な景観を維持し、さらに形成していくことは歴史的風致の維持向上においても重要である。また、下田市民1人当たりの公園緑地等の面積が約21.7㎡(令和6年2月1日時点)と高く、県下有数の公園都市となっていることから、令和5年度より「緑の基本計画」の策定に取り組みはじめ、令和6年9月末に策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	適切な緑の配置は、下田市内外を取り巻く現代の社会情勢において、より豊かな暮らしとなる「居心地の良い空間」の創設に寄与することから、より良い景観の形成を図る上でも、計画に即した事業を展開していく。
--	---

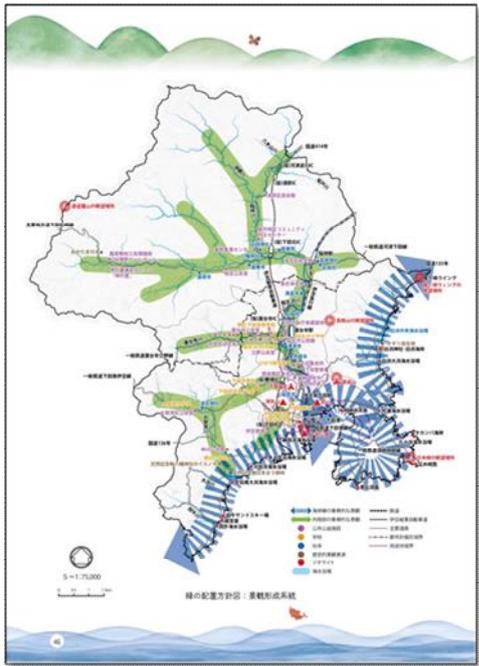
状況を示す写真や資料等

下田市緑の基本計画

下田市緑の基本計画

令和6年11月

下田市建設課都市住宅係



「下田市緑の基本計画」表紙

「下田市緑の基本計画」

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域は、下田市景観計画に定める旧町内ゾーン、下田港周辺ゾーン、海岸線ゾーンの一部が含まれている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「下田市景観計画」の改訂に向け、下田市景観まちづくり審議会作業部会において検討を重ね、令和7年3月末に策定した。(作業部会:6回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画策定に向けた検討の中で、市内を6地域に分け、今後地域ごとの景観計画ガイドラインの作成を目指す方針を打ち出した。		
状況を示す写真や資料等			
			
令和6年6月27日 令和7年度第1回下田市景観まちづくり審議会作業		下田市景観計画改訂支援業務 現地調査風景 (令和7年2月16～18日 東京農業大学地域環境)	
			
令和6年度下田市景観まちづくり審議会作業部会先進地視察 令和6年11月11日(月)～13日(水) 視察先:長野県小布施町、上田市、東御市、松本市 長野県小布施町議会議員 関悦子氏との面談(左手前) (※小布施町のまちづくり会社((株)ア・ラ・小布施 元取締役兼企画部長))		「下田市景観計画」表紙	

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法及び静岡県屋外広告物条例により規制・誘導している。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、市独自条例の制定に向けて検討を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「下田市景観計画」を改定し、屋外広告物の景観形成に対する方針を定めた。

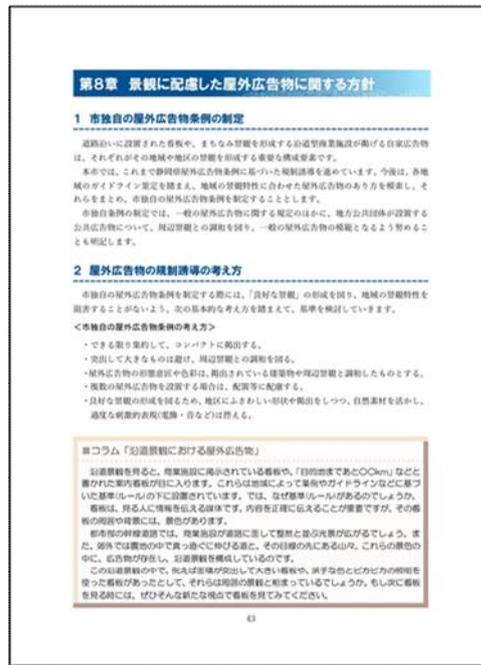
進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画に定めた方針のもとに、規制・誘導内容を定めた独自条例の制定を目指す。

状況を示す写真や資料等



「下田市景観計画」表紙



「下田市景観計画」
第8章 景観に配慮した屋外広告物に関する

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和5年度～令和9年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の修繕費用に対する助成を実施し、建造物の保護保存を進めた。 歴史的風致形成建造物修繕助成(※対象物件10件(毎年度活用可)) 令和元年度2件、令和2年度5件、令和3年度4件、令和4年度4件、令和5年度1件、令和6年度1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物所有者の高齢化や維持管理の負担など、引き続き歴史的建造物の保護保存に対する課題は多い。助成制度の継続的な運用はもちろん、建物所有者にとって使いやすい制度の検討など、所有者への聞き取りなどを通して制度の拡充を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
指定番号No.1雑忠(外壁修繕※着工前)			
			
指定番号No.1雑忠(外壁修繕※着工後)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
下田市景観まちづくり条例助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的建造物の保護保存、活用に向けた改修等の費用負担軽減に対する助成事業を実施。 平成23年度 3件、平成24年度 3件、平成25年度 2件、平成26年度 1件、平成27年度 2件、平成28年度 1件、平成30年度 2件、令和元年度 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の高齢化、維持管理費用の負担など、歴史的建造物が抱える課題は多い。助成制度を継続的に運用しながら、より所有者の負担軽減につながる制度の検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">令和6年度事業なし</div>			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
玉泉寺周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 玉泉寺周辺において、道路修景による歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備等の環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学校教育における市内歴史資産の活用を検討し、周辺整備事業の事業価値の向上にも寄与することから、市内小中学校の教職員を対象とした教職員の歴史まちづくり・社会科見学の実施した。(令和6年7月29・30日、延べ8人参加。)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 整備事業の周知につなげるため、エリアの歴史的価値を広く広報するため、継続的に教職員を対象とした事業を行い、学校教育への活用を促す。

状況を示す写真や資料等



令和6年度 教職員の歴史まちづくり・社会科見学
(令和6年7月29・30日実施 ※玉泉寺見学の様子)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
市道大川端通線周辺整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)

計画に記載している内容 市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下田市景観計画の改定作業を進める中で、景観重要公共施設の指定候補として「市道大川端通線」及び「大川端物挙場(下田港)」を記載した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 都市再生整備計画事業についての事業は終了しているが、施設整備については、関係機関との調整を行いながら整備を進めていく。

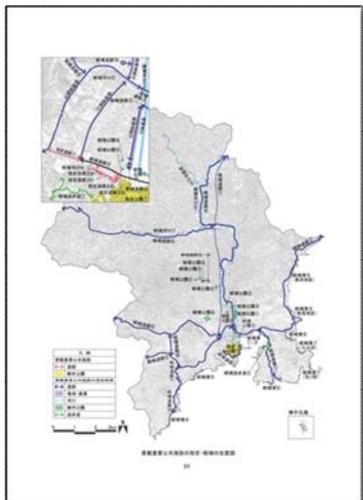
状況を示す写真や資料等



「下田市景観計画」表紙



「下田市景観計画」



「下田市景観計画」
景観重要公共施設の指定・候補の位置図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
旧下田町道路美装化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度～令和4年度)

計画に記載している内容 旧下田町内において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装や街灯整備、無電柱化を実施することにより、住民が誇りを持てる空間の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に「旧下田町地区街なみ環境整備事業計画」を策定し、計画に基づいて令和4年度も事業を実施した。
 修景舗装実施済延長＝令和元年度:49.55m、令和2年度:69.20m、令和3年度:36.58m、令和4年度:32.2m
 これまでにおける修景舗装実施延長割合＝実施済延長:187.53m／計画延長:650m * 100＝29%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

令和5～9年度の5力年においても、街なみ環境整備事業による修景舗装を実施する計画とし、令和4年度実施箇所から連続して90.3mを施工した。
 (実施済延長227.83m／計画延長:650m * 100＝43%)

状況を示す写真や資料等



市道稲荷社前通線

施工前



市道稲荷社前通線

施工後

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
蓮台寺温泉環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)にて整備した都市公園「しだれ桃の里公園」の管理として、公園敷地内に看板を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き適切な管理のもと、公園利用者の利便性を向上させる整備等を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
↓			
			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
下田公園環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定史跡 下田城址の測量完了後の活用方針を検討。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	予算確保が困難な状況が続いている。予算が付き次第、一部未実施箇所の測量を行う。その後、市指定史跡 下田城址の活用方針を検討し、公園内の整備方針に反映させていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">令和6年度事業なし</div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
下田太鼓祭りプロモーション事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 首都圏等、市外の都市において下田太鼓祭りを様々な媒体を活用して魅力を発信、認知度をあげるプロモーションを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

前年度に引き続き、重点区域内の歴史的建造物やまちなみを散策してもらうため、散策マップを歴史的風致維持向上施設「旧澤村邸」にて継続的に配布。また、同施設にて令和元年度より歴史まちづくりカードの配布を行っており、カード表面に下田太鼓祭りの一場面を採用している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

継続的な広報活動と新たな情報発信方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等



マップ(表面)



歴史まちづくりカード

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度						
項目		現在の状況							
太鼓台整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手							
事業期間	平成30年度～令和9年度								
支援事業名	市単独事業								
計画に記載している内容	下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
太鼓台整備助成事業の検討も含め、下田市景観まちづくり条例における助成内容の見直しを検討。									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	太鼓台や道具類を扱う職人の高齢化や、事業継承が困難な状況があり、技術の伝承や助成金制度などを活用した保護保存の検討も必要である。技術の伝承として記録保存するなど、新たな対応策の検討も必要である。								
状況を示す写真や資料等									
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>令和6年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会 活動状況</p> <p>〈会議開催:年間6回〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①令和6年6月27日</td> <td style="width: 50%;">②令和6年9月13日</td> </tr> <tr> <td>③令和6年11月7日</td> <td>④令和6年12月9日</td> </tr> <tr> <td>⑤令和7年1月10日</td> <td>⑥令和7年3月28日</td> </tr> </table> </div>				①令和6年6月27日	②令和6年9月13日	③令和6年11月7日	④令和6年12月9日	⑤令和7年1月10日	⑥令和7年3月28日
①令和6年6月27日	②令和6年9月13日								
③令和6年11月7日	④令和6年12月9日								
⑤令和7年1月10日	⑥令和7年3月28日								
									
令和6年度第1回下田市景観まちづくり審議会作業部会 R06.06.27									

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
姉妹都市(ニューポート)交流事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカ・ニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年10月4～11日の期間において、下田市ニューポート訪問団として中学生4名が当市の海外姉妹都市であるアメリカ合衆国ロードアイランド州ニューポート市との交流事業に参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な事業として実施できるよう、補助費用の財源確保に努める。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>ニューヨーク市立大学訪問(中学生によるスピーチ)</p>		<p>米国総領事ハリスの墓への墓参</p>	
			
<p>ニューポート市長訪問</p>		<p>米国海軍ペリー提督の墓への墓参</p>	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度																												
項目		現在の状況																													
下田市青年就農給付金給付事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																													
事業期間	平成24年度～令和9年度																														
支援事業名	静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業																														
計画に記載している内容	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。																														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																															
新規の制度利用希望者はいなかったが、これまで給付を受けた者の就農は継続して行われた。																															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																														
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	単に新規就農者を募集するのではなく、この地域の特色を生かしたプランを提示していく検討も必要である。																														
状況を示す写真や資料等																															
平成24年度:1件 平成25年度:4件 平成26年度:5件 平成27年度:5件 平成28年度:5件 平成29年度:4件 平成30年度:4件 令和元年度:1件 令和2年度:0件 令和3年度:0件 令和4年度:0件 令和5年度:0件 令和6年度:0件		<p style="text-align: center;">下田市青年就農給付金給付事業 実績</p> <table border="1"> <caption>下田市青年就農給付金給付事業 実績 (平成24年度～令和6年度)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年度</td><td>1</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>5</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>4</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>1</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>0</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績数	平成24年度	1	平成25年度	4	平成26年度	5	平成27年度	5	平成28年度	5	平成29年度	4	平成30年度	4	令和元年度	1	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0	令和5年度	0	令和6年度	0
年度	実績数																														
平成24年度	1																														
平成25年度	4																														
平成26年度	5																														
平成27年度	5																														
平成28年度	5																														
平成29年度	4																														
平成30年度	4																														
令和元年度	1																														
令和2年度	0																														
令和3年度	0																														
令和4年度	0																														
令和5年度	0																														
令和6年度	0																														

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
天草漁業従事者育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
イベント等の開催を検討したが、日程等条件が整わず開催を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域資源としての周知・広報を行い、認知度の向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">令和6年度事業なし</div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
旧下田町環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業

計画に記載している内容 旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年9月末に「緑の基本計画」を策定し、旧下田町を「緑化重点地区の候補地」に選定し、「緑の保全・整備テーマ」の設定を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

街なみ環境整備事業にて進めている修景舗装や、かつて都市再生整備事業にて整備したポケットパーク、周遊マップなどの事業を継続的に実施する財源の確保が課題となっている。

状況を示す写真や資料等

5-3 緑化重点地区の候補地

本市の緑の将来像に向けて、都市計画区域内において特に緑化に関する事業を優先的かつ総合的に進める地区を、緑化重点地区の候補として以下に示します。

●緑化重点地区の候補と選定理由

候補地	選定理由
旧町地区	密集市街地であることから緑が少なく、また、避難地の面積が十分でない等の防災上の課題がある一方で、ハンギングバスケット通りでは市民による花修景が実施されている [※] ことから、伊豆急下田駅の駅前等の都市と観光のシンボル地区とすると共に、歩いて楽しめるまちの中心としたいため、緑化の推進を図りたい地区である。

碧の基本計画「5-3 緑化重点地区の候補地」

6-2 「緑の保全・整備テーマ」の設定

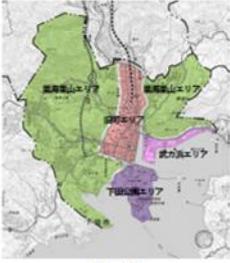
6地域12景域についての「緑の保全・整備テーマ」を以下に設定します。なお、「緑の保全・整備テーマ」は、地域・景域の現状の自然環境や人文環境を考慮して設定します。

6-2-1 下田・本郷地域

この地域は、下田市の中心市街地である旧町エリアを含み、地域の特徴が多様であることから、地域内に右記の4つの景域を設定し、それぞれについて「保全・整備テーマ」を設定します。

6-2-1-1 旧町エリア【テーマ：みなとまちウォークブルタウン】

旧町エリアは江戸時代からの町割りを残すエリアで、下田のまちの観光の中心となる場所です。このエリアは平坦な土地であり、鉄道駅や下田の歴史と文化に関連した観光資源も多く存在することから、都市計画マスタープランにおいては歩きやすい道路の整備を進めることとしています。本計画においても、この歩きやすいまちづくりを実現するための、歩行者ネットワークの設定と観光客や地域住民が日常の中で利用可能なポケットパークの配置などの緑の整備を検討します。



景域区分図



大工町プレイス

碧の基本計画「6-2 「緑の保全・整備テーマ」の設定」

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源回遊性向上事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年9月末に策定した「緑の基本計画」にて、「4-6 下田を楽しめる緑を創るに関する施策」として、「4-6-2 歩いて巡ることのできるルートを創る」を掲げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	街なみ環境整備事業にて進めている修景舗装や、かつて都市再生整備事業にて整備したポケットパーク、周遊マップなどの事業を継続的に実施する財源の確保が課題となっている。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>4-6 下田を楽しめる緑を創るに関する施策</p> <p>4-6-1レクリエーションの拠点を創る</p> <p>下田を住み続けたい、住んでいることを誇れるまちとするためには、市民が下田に魅力を感じることが重要です。この魅力は特別なものではなく、日常の中で感じるものが重要であると考えられることから、市民のスポーツやレクリエーションなどの日常の様々なニーズに対応できる、自由に利用できる空間を、既存の都市基幹公園である下田公園と敷根公園の整備拡充や新規の公園等の整備により設けます。</p> <p>また、下田を代表するスポーツであるサーフィンに関連したレクリエーションの拠点整備を検討し、今後の下田の発展に繋げていきます。</p> <p>4-6-2 歩いて巡ることのできるルートを創る</p> <p>観光施設や公園等が集中する旧町と下田港周辺については、駅前広場から大川端やマイマイ通り、ペリーロード、下田公園などを歩いて楽しめるルートを設定し、そのルート中に休憩場所となるポケットパークの整備を行うことで、下田の楽しみ方を増やします。なお、このルートの中での市役所跡地の活用も検討します。</p> <p>また、下田港から大川端、まどか浜海遊公園、弁天島、そしてハリスの小径を結ぶ既存の歩行者ネットワークに、浄化センターとフェリー乗り場を結ぶ渡船を追加することで、下田港の周遊ルートを形成することを検討し、下田まち歩きの魅力の向上を図ります。</p> <p>さらには、季節の変化を楽しみながら、また、緑陰の下を快適に歩けるよう、ルートの中の道路の緑化の検討を行います。</p> </div>			
緑の基本計画「4-6 下田を楽しめる緑を創るに関する施策 4-6-2 歩いて巡ることのできるルートを創る」			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
郷土学習総合推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年12月14日に吉田松陰関係史跡巡り「しょういん探検隊」を実施し、小学生3名、保護者1名の計4名が参加した。また、令和6年10月に、市内小学校より出前講座の依頼を受け実施。(稲梓小学校5年生 社会科)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	休日に実施したイベントでは参加希望者が伸び悩んだため、今後は、内容、時期、PR方法、参加募集対象者の再検討を実施したい。また、出前講座の要請については、制度を知らなかったとの声が寄せられ、引き続き制度の周知、啓発に努めていく必要がある。		

状況を示す写真や資料等



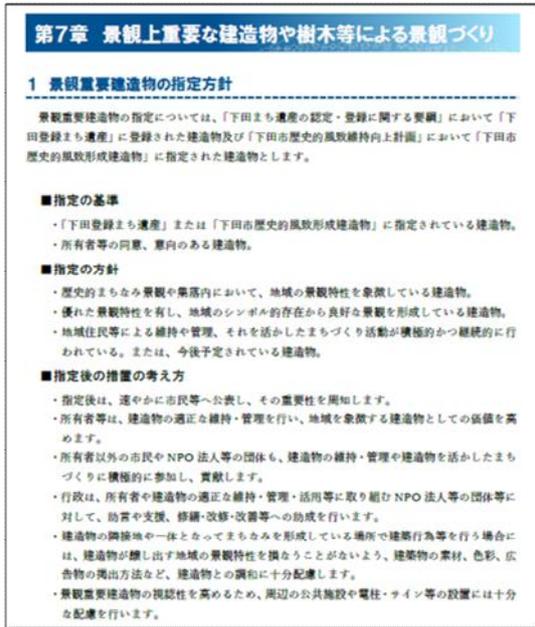
吉田松陰関係史跡巡りイベント「しょういん探検隊」
令和6年12月14日開催 参加者4名(うち、小学生3名)



職員出前講座「景観を活かしたまちづくり」
令和6年10月28日 稲梓小学校5年生 社会科



令和6年度 教職員の歴史まちづくり・社会科見学
令和6年7月29・30日実施 ※了仙寺見学の様子

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
下田市歴史文化情報発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内外へ、歴史的風致に関する情報の周知を図るために、歴史的風致維持向上計画の公表と併せ、下田市広報、ホームページ、下田まち遺産手帖等で、歴史文化の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下田市景観計画を策定し、景観資源である「下田登録まち遺産」の今後の方針や、景観重要建造物の考え方について示した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	広報内容の検討を継続し、歴史的風致の周知に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>下田市景観計画</p> <p>令和7年 下田市</p>		 <p>第7章 景観上重要な建造物や樹木等による景観づくり</p> <p>1 景観重要建造物の指定方針</p> <p>景観重要建造物の指定については、「下田まち遺産の認定・登録に関する要綱」において「下田登録まち遺産」に登録された建造物及び「下田市歴史的風致維持向上計画」において「下田市歴史的風致形成建造物」に指定された建造物とします。</p> <p>■指定の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 「下田登録まち遺産」または「下田市歴史的風致形成建造物」に指定されている建造物。 所有者等の同意、意向のある建造物。 <p>■指定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的まちなみ景観や集落内において、地域の景観特性を象徴している建造物。 優れた景観特性を有し、地域のシンガルの存在から良好な景観を形成している建造物。 地域住民等による維持や管理、それを活かしたまちづくり活動が積極的かつ継続的に行われている。または、今後予定されている建造物。 <p>■指定後の措置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定後は、速やかに市民等へ公表し、その重要性を周知します。 所有者等は、建造物の適正な維持・管理を行い、地域を象徴する建造物としての価値を高めます。 所有者以外の市民やNPO法人等の団体も、建造物の維持・管理や建造物を活かしたまちづくりに積極的に参加し、貢献します。 行政は、所有者や建造物の適正な維持・管理・活用等に取り組みNPO法人等の団体等に対して、助言や支援、修繕・改修・改築等への助成を行います。 建造物の隣接地や一体となってまちなみを形成している場所で建築行為等を行う場合には、建造物が醸し出す地域の景観特性を損なうことがないよう、建築物の素材、色彩、広告物の掲出方法など、建造物との調和に十分配慮します。 景観重要建造物の視認性を高めるため、周辺の公共施設や電柱・サイン等の設置には十分な配慮を行います。 	
「下田市景観計画」表紙と関連ページの抜粋			
<p>(3) 検討されていない「まち遺産」の活用方法と未着手の保存に向けた整理</p> <p>「下田市景観計画(以下、「計画」)」における「下田まち遺産(以下、「まち遺産」)」制度は、本市において「景観資源」という考え方を広く市民に周知する役割を担った特徴的な取組みです。景観施策を進めていく上で、計画に掲げる各地域の「良好な景観」の形成には、各地域の「景観資源」が中心的役割を担います。「景観資源」には、地域の寺社仏閣など歴史的資源や祭事などの文化、地域の生活風土と共に形成されてきた人の暮らしや、長い時間をかけ少しずつ形づくられてきた自然の風景などの多種多様なモノを含み、私たちの日常にごく身近に存在するモノたちです。これらを分かりやすく「まち遺産」と名付け、市民に親しみを持って受け入れられてきたことは、景観施策を進めていく上で大きな存在となりました。「まち遺産」の認定・登録数は、これまでに163件を数え、その認知度もかなり高まってきたといえます。</p> <p>一方、激甚化する自然災害や人口の減少、深刻化する少子高齢化による担い手不足など、私たちを取りまく社会環境は、これまで経験してきたことのない課題・問題を抱えています。こうした中、それぞれの「まち遺産」においても未来に継承していく上で様々な課題・問題を抱えているのが現状です。こうした状況を踏まえ、それぞれの「まち遺産」をいかに活用し、また未来に向けて伝えていくのか。活用方法の検討や、記録の保存、整理に向けた仕組みの整理など、取り組まなければならない大きな課題、問題です。</p>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
玉泉寺ロシア人墓地踊場改修工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の適切な調査及び保存管理を行いつつ、来訪者の利便性を向上させるべく改修工事等の検討を行い事業を実施し、今後、植栽等修景措置を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
【施工前①】		【施工前②】	
			
【施工後①】		【施工後②】	
			
令和6年度実施 国指定史跡玉泉寺 発掘調査概要 添付写真より			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体のみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。 火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業無し			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を適切に保護保存し、将来にわたって着実に継承していくため、文化財の価値を損ねることのない適切な修理や周辺環境の整備、滅失等を防ぐための防災訓練の実施等を継続していく。大きな事業計画は無いため、日常管理の徹底に努める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">令和6年度事業なし</div>			

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発、団体との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内外の人々を対象として実施する普及・啓発としては、文化財の価値や貴重さを伝えるために、各指定文化財の統一的な案内看板の設置や、文化財パンフレット等を作成し配布するとともに、ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催を行っていく。
 また、活動団体と連携して保存・活用を図るため、官民協働により担い手育成の支援や、必要な助言・指導などを活動的に行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年度実施している教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」を開催し、4回の開催で累計151人が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の普及・啓発を進めていくため、講座等の開催を継続していくことが重要である。また、講座内容について、過去に開催した内容と重複しないよう、講師の選定等を含め検討していくと同時に、より多くの受講を促すため、初見でも理解しやすい講座内容を検討する。

状況を示す写真や資料等

開催日時	演題	講師
11月19日(火) 18:30~20:00	伊豆三島神と笑止について	外岡 龍二 (下田市文化財保護審議会会長・下田市史編さん委員)
11月26日(火) 18:30~20:00	古代伊豆の仏教文化 ～伊豆南部を中心に～	田島 整 (上原美術館主任学芸員・下田市文化財保護審議会委員)
12月10日(火) 18:30~20:00	県内唯一の繁殖地「神子元島」の カムリウミスズメ	手嶋 洋子 (公益財団法人日本野鳥の会)
12月18日(水) 18:30~20:00	安政5年仏使節団下田滞在記	高橋 廣明 (下田市文化財保護審議会副会長・下田市史編さん委員)

令和6年度下田市教育委員会連続講座 「南豆の歴史を後世に」

①令和6年11月19日(火) 18:30~20:00 参加者: 40人
 演題: 伊豆三島神と笑止について
 講師: 外岡 龍二(下田市文化財保護審議会会長・下田市史編さん委員)

②令和6年11月26日(火) 18:30~20:00 参加者: 42人
 演題: 古代伊豆の仏教文化～伊豆南部を中心に～
 講師: 田島 整(上原美術館主任学芸員・下田市文化財保護審議会委員)

③令和6年12月10日(火) 18:30~20:00 参加者: 31人
 演題: 県内唯一の繁殖地「神子元島」のカムリウミスズメ
 講師: 手嶋 洋子(公益財団法人日本野鳥の会)

④令和6年12月18日(水) 18:30~20:00 参加者: 38人
 演題: 安政5年仏使節団下田滞在記
 講師: 高橋 廣明(下田市文化財保護審議会副会長・下田市史編さん委員)

令和6年度下田市教育委員会連続講座
「南豆の歴史を後世に」チラシ



令和6年度下田市教育委員会連続講座
「南豆の歴史を後世に」第1回講座



令和6年度下田市教育委員会連続講座
「南豆の歴史を後世に」第2回講座

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
第85回 開港170周年 黒船祭 あす開幕	令和6年5月16日	伊豆新聞
「黒船祭来訪 うれしい」 米ニューポート市5年ぶり代表团 下田に到着、歓迎式	令和6年5月17日	伊豆新聞
ペリー子孫らとゲーム 下田・白浜小で黒船祭日米交流会	令和6年5月18日	伊豆新聞
日米 末永い友好願う 開港170周年、下田で黒船祭開幕	令和6年5月18日	静岡新聞
国際色豊か 催し盛大 600人で式典 日米友好に感謝	令和6年5月19日	伊豆新聞
下田・黒船祭2日目 市民ら声援 日米友好パレード 華やか	令和6年5月19日	静岡新聞
開港170年 国際色豊かに 下田で黒船祭	令和6年5月19日	朝日新聞
条約調印再現劇 開国の歴史伝承 下田・黒船祭が閉幕	令和6年5月20日	静岡新聞
太鼓橋高々と 下田旧町熱く	令和6年8月15日	伊豆新聞
路地巡り魅力探る 下田で全国サミット 専門家、愛好者ら50人	令和6年11月17日	伊豆新聞
「9本命中、豊作期待」 下田 500年の伝統 落合高根白山神社で「鬼射」	令和7年2月12日	伊豆新聞
下田の伝統行事「鬼射」 五穀豊穡 安泰願い矢放つ	令和7年2月12日	静岡新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
関連する事業の掲載により、歴史まちづくりの進捗状況の情報提供に繋がった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	事業に関する資料の報道機関への提供を継続し、効果的な報道に繋がるよう実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 著作権保護のため、新聞記事はなし。 </div>		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

SNSにみる認知度の向上

計画に記載している内容 美しく風格ある都市を創出し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致維持向上計画に関する情報の発信を年間10回行い、1,132件のリアクションがあった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

引き続き情報発信に努めていく。

状況を示す写真や資料等



Instagramでの記事掲載状況の様子

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
令和6年度進行管理・評価シート	
会議等の開催日時: 令和7年5月22日(木)	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査、保存管理(活用)について、玉泉寺ロシア人墓地踊場改修工事については、玉泉寺住職や地域住民などから感謝の声が上がっているが、植栽などを行うことにより、さらに周辺景観との調和を図っていただきたい。今後、同様の工事を行う場合には、周辺の歴史・自然景観に配慮するよう努められたい。 ・郷土学習総合推進事業について、事業内容は評価できるが、参加者数が少ないことが課題として挙げられる。開催時期やPR方法、参加募集対象者について検討し、継続して事業に取り組めるようにしていただきたい。 ・文化財の普及、啓発、団体との連携について、文化財の普及、啓発から観光振興へとつなげられるような視点を持った上で、他市町の住民も参加でき、かつ一般の方が聞いて理解できるような内容の工夫など、各事業の企画立案をしていただきたい。 ・蓮台寺温泉環境整備事業について、この地区は温泉、公園、しだれ桃もあることから、歩いて楽しめる地区となっており、ペリーロードのような華やかさよりも、しっとりとした雰囲気のある町並みとなっている。しかし、各拠点ごとに距離があるため、周遊性の向上がこれまで課題となっており、引き続き、周遊性の向上を目指した取組みについて検討していただきたい。 ・歴まちカード事業は、中部地方整備局が主導し、全国に広がった取組みとして知られ、歴史まちづくりを観光に結び付ける、よい取組みである。近隣の認定都市間での情報共有や、共同で事業を実施することで、より効果的な事業を企画立案することができるのではないか。 ・歴史的建造物の保存及び活用について、建築基準法の一部改正もあったことから、今後は建築確認の適用除外として取り扱えるよう制度設計をしなければ、歴史的建造物としての価値を持った上での適切な保護保存につながらないことが予見される。建築基準法における建築確認の適用除外の運用について、早々に検討を始めてもらいたい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の協議会において委員から指摘のあった事項に留意しながら、現行計画に記載した事業を継続的に実施していく。 ・次期計画に向け、現行計画の各事業の状況を把握、検討を行っていく。 	